第１回周南市まち･ひと･しごと創生戦略会議
会　議　録

日　時：平成２７年7月１３日（月）

場　所：周南市学び交流プラザ　交流室４

【会　議　次　第】

１　開　会

２　市長あいさつ

３　委員の自己紹介

４　会長及び副会長の選出

５　議　事

⑴　周南市人口ビジョン・総合戦略の概要について

⑵　策定に向けたスケジュールについて

⑶　周南市人口ビジョン骨子ついて

⑷　周南市総合戦略骨子について

⑸　部会の設置について

６　その他

７　閉　会

≪　配付資料　≫

・ 第１回まち・ひと・しごと創生戦略会議 配席表

・（資料１）「第1回まち・ひと・しごと創生戦略会議資料」

・ 第２次周南市まちづくり総合計画

・ 第２回・第３回 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議開催日程伺い

・ 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議（部会）への代理出席について

第１回 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議　会議録

日　時　　平成２７年７月１３日（月）　１３時３０分から

場　所　　周南市学び交流プラザ　交流室４

出席者　　・委員　２２名

小林 和子、谷口 博文、有吉 毅彦、佐伯 哲治、竹村 恭典、牧 洋史、原田 康宏、河村 啓太郎、江本 伸二、石川 英樹、河田 正樹、稲葉 和也、中川 明子、徳永　徹、岡田　浩、姉ケ山 将和、横道 秀彦、藤田　徹、藤本 賢司、石光 須美恵、竹田 英保、中村 孝史

・周南市長 木村 健一郎

・事務局　７名

企画総務部

部長　近光 愼二、部次長　原田 義司

企画総務部政策企画課

課長　高木 一義、課長補佐　行冨 広康、企画担当係長　中村 貴子、主査　中村 成孝、主任　山本 彩乃

資　料　　・会議次第のとおり

会　議　議　事　録

１　開　会

２　市長あいさつ

皆さん、こんにちは。周南市長の木村健一郎です。

「周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議」の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、平素から本市のまちづくりや、市政運営に様々な形でご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

また、この度、この「周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議」委員へのご就任をお願い申し上げましたところ、ご多忙にもかかわらずご快諾を賜り、誠にありがとうございます。

さて、ご承知の通り、7 年前、2008 年に始まりました我が国の人口減少は、今後、さらに進むとみられております。こうした人口の減少が地域経済を縮小させ、地域経済の縮小が、さらに人口の減少を加速させるといった負のスパイラルが危惧されているところであります。

こうした問題を克服し、将来にわたって活力のある日本社会を維持していくため、国におきましては、昨年 11 月に、「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、2060 年の人口を 1 億人程度とする「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、今後 5 年間で取り組むべき政策の方向を示した「総合戦略」が策定されたところです。

さらに、全国の地方公共団体においても、地域の実情に応じた「人口ビジョン」と「地方版総合戦略」の策定に努めるものとされたことから、本市におきましても、今年中の策定を目指して取り組みを進めているところです。

策定にあたりましては、様々な分野でご活躍の皆さまから、専門的なご意見、ご提言をいただきながら進めてまいりたいと考え、この会議を組織したところであります。

委員の皆様方におかれましては、どうぞ、忌憚のないご意見をいただき、本市の特性を最大限に生かした、周南市ならではの総合戦略の策定にお力添えを賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

３　委員自己紹介

（名簿順に委員の自己紹介、事務局の自己紹介）

４　会長及び副会長の選出

◇事務局　それでは次に、「会長及び副会長の選出」に入りたいと存じます。「周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議」設置要綱第5条で「戦略会議に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。」とされておりますので、皆さまの互選により、会長・副会長を選出したいと存じます。どなたか、ご意見はございますか。

●委員　事務局一任。

◇事務局　事務局に一任とのご意見でございますが、よろしいでしょうか。

●委員　（異議なし）

◇事務局　それでは、事務局から会長及び副会長をご提案させていただきます。会長には、徳山大学の石川英樹委員、副会長は徳山高専の中川明子委員にお願いしたいと思います。ご異議がなければ、拍手をもってご承認をお願いします。

●委員全員　（拍手）

◇事務局　ありがとうございました。委員の皆様のご承認により、会長に石川委員、副会長には中川委員が選出されました。

会長、副会長より一言ずつご挨拶をお願いします。

○会長　ただ今ご指名いただきました、徳山大学経済学部長の石川でございます。市長の挨拶にもありましたように、人口減少、さらにはグローバリーゼーションということで、非常に難しい時代が続いておりますが、周南市は臨

海地域の様々なコンビナート事業の集積に加え、中山間地域の豊かな文化、自然等の資源があり、非常にポテンシャルが高いと思っております。そうした中、総合戦略の策定を手伝わせていただけるということで、大変身が引き締まる思いでおります。各委員の皆さまからのご協力をどうぞよろしくお願いします。

○副会長　副会長を仰せつかりました中川と申します。力不足なのではないかと不安が一杯でございますが、出来る限りのことをしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

５　議事

（１）　周南市人口ビジョン・総合戦略の概要について

（２）　策定に向けたスケジュールについて

◇事務局　～「周南市人口ビジョン・総合戦略の概要について」及び
「策定に向けたスケジュールについて」について説明～

○会長　ただいまの事務局からの説明で、何かご質問がございましたらお願いします。

●委員　国からやれと言われたからやれと。スケジュールだけ押し付けられたから、何かやらないといけないからやるという会議ですか。

ビジョンはすごく良いが具体的なことが何も書いてない。何をどうしたら良いのかは、例えば人口が減少すると言っても雇用する場所がないと若いお母さんは子供を作ろうかという気にはならない。子どもが大きくなったら東京・大阪にしか良い大学が無ければそっちに行く。子どもたちは、都会の方が環境が良いので、帰ってくるのをよそうかなとなる。

では、周南市をどんなまちにしたいのかを、市なり、企画課の方で出してもらわないと話の仕様が無い。職場を創生するのか、地元の企業の皆さん雇用を増やしてください、というのであれば考えようがあります。

どうやって人口を増やすのか､増やす計画を60年まで考えてくれと言われても無理です。行政がある程度の基本的なところ、金をつぎ込もうという重点的なものを示していただかないと、取りつく島がない。マンパワーが都市の力。中心になるものが何かなければ｡夏まつり､ツリーまつりをやれば人が集まる。毎月、祭りをやるでも良いと思います。

資料は色々いただきましたが、まず棚卸をして、その資料をもらわないと検討の仕様がありません。

私も会社の経営をしていて、いくら今年利益を上げるか、経営計画を立てます。その時に漠然と15%上げると言っても数字は達成出来ません。出ていくお金と入るお金を考えて計画を立てる。常に3～5年の経営計画をもっています。

当然､周南市も持っているはずだと思います｡計画は大変良く出来ていますし、スケジュールも早急にやらないといけないと思います。こんなにのんびりしていて良いのかとも思います。

トップがここは充実させたい、というのを出してもらわないと、全部リンクしているので１つだけやったらよいという問題ではないと思います。

例えば、ポートタワーが建て替わります。では、それと徳山駅との連携はどうなるのか、といった計画がないと、派生する商業施設や商業活動、イベントをしようと思ってもやり様が無いのです。そこを、ある程度具体的なものを出していただけませんか。

〇会長　基本的には、これから調査も行われ、それを見ながら考えていくというスケジュールだと思いますが。

●委員　調査と言っても、既に見えているのではないですか。

㈱トクヤマさんが本社を移すと、株主総会で決まったそうです。これで人口が 100 人くらい増える。そういった誘致活動を自分たちはしています。

法律的に、行政が帰って来られるような仕組みを作ってください。側面支援といったことをしないと何を話しても絵に描いた餅です。

○会長　貴重なご意見をいただきありがとうございます。色々な分野の方が集まっているので、それぞれの分野で見ておられることを返すという意味で、こういった場があることは大変重要だと私は感じています。

◇事務局　委員から貴重なご意見をいただきました。これから戦略会議で進めてまいりたいと思っていますが、確かに現在ビジョンであるので、骨子しか出せてないというところがあります。

●委員　申し訳ないが、ビジョンでもなんでもない、ただの計画です。ビジョンというのは夢がないとダメ。夢の部分がない。夢を語ってください。具体的にしてください。

◇事務局　総合戦略の中で、それ（夢）を入れていかなければならないという事は行政側も十分認識しています。委員がおっしゃられたように棚卸といったことも必要であると思います。先ほど、まちづくり総合計画がバイブルと言いました。今、担当部局においても、これをベースに、どこにしっかり力を入れていくのか、これを総合戦略の中で、皆さま方の専門的なアイデア等もいただきながら作っていきたいと考えている状況です。棚卸についても、案や、予算の事もあるので、そのあたりも含めて周南市としてどういったところに力を入れてやっていくかということを総合戦略に盛り込んでいきたいと考えているところです。

〇会長　そういった大きいところ、そういったこともこの場で共有して、それぞれが未来像などを決めていくというのがこの会議でやっていくことと思っています。

他に質問等が無ければ、次の議題について、説明をお願いします。

（３）　周南市人口ビジョン骨子について

◇事務局　～「周南市人口ビジョン骨子について」説明～

〇会長　　ただいまの事務局からの説明で、ご質問等がありましたらお願いします。

●委員　　30 年後の産業人口分析は何のためにするんですか。

◇事務局　周南の現状は色々あると思いますが、2060 年までの人口動向、こういったものを見据えて、まず総合戦略はこれから 5 年間でまず取組むことを、人口ビジョン、人口動向を推計しながら組み立てていきたいという事が目的で、産業人口の分析等を含めて展開していきたいと考えています。

○会長　　これまで、得てしてまちづくり総合計画などを作られるうえで、人口が増えていくというような楽観的なものを基にやってきたことが続いてきましたが、それはもう無理だと。そこをまず冷静に見ておこうという事で、非常に重要だと私は思っています。

●委員　　ギリシャの問題にしても、すごいスピードで世界中が今変化している。今の現状分析で分かる経済学者はいません。ノストラダムスの大予言に等しいような状況だと思います。過去のデータの蓄積を基に将来どうなるであろうかという予測ですが、経済がグローバル化して、どこかの国が傷んだら、まわりまわって日本に影響があるという、リーマンショックも日本の債権はそんなに流れていなかったのに、世界的に金融危機になったから株が大暴落したわけです。一般庶民は全く関係ないのに、そうなると企業が設備投資を抑えたりという事が現実に起こっている。

現状分析は良いが、将来 30 年先の予測なんて無意味です。希望は必要です。そのためにどこの企業を育成するかという事を考えるのなら良いと思いますが、産業人口分析をして、何か良いことがあるんですか。過去のやり方では、もう通用しないんです。こういうこと（分析）は必要なんですが、重要なことでは今なくなってきていると思います。そのあたりをどのようにお考えなのか。

○会長　　一つの厳しい将来像をきちんと見たうえで、経済学というのは確かにその通り当たるものではありません。ただ、そういった考え方をもっておくこと、共有化しておくという事は重要だろうと思います。

●委員　　今の委員のご意見について、私は合併の時に総合計画の策定に加わったんです。当時の徳山高専の校長が会長で、私は経済部門の部会長で、ほかにも徳山大学の先生と人口の問題をやりました。当初の計画は増える計画でしたが、3 人が強硬に反対したんです。増える訳がないと。元々は増える計画にインフラをくっつけるような計画だったのですが、こんなのはありえないということで、減る計画を立てて、それで必要なインフラを整えると。現実には過去の計画で

も、無理だろうというのは出ています。危惧されていることはよく分かるのですが、ここにいる方はみんなそれぞれの専門部門から来られている方ですので、こんなのありえないだろうという計画は多分出来ないのではないかと思います。過去にもそういうことがありましたという事をお伝えしておきます。

○会長　他に質問等が無ければ、次の議題について、説明をお願いします。

（４）　周南市総合戦略骨子について

◇事務局　～「周南市総合戦略骨子について」説明～

○会長　ただ今の説明に対し、何かご質問がございましたらお願いします。

●委員　重要業績評価指標を検証するという事はとっても良いことだと思いますが、評価する機関はどこにあるのですか。

◇事務局　この会議は策定のために皆さんにお集まりいただいておりますが、現在、評価する機関として考えておりますのは、学識経験者や銀行さんなど、一番データ等を持っておられる方に、この会議に引き続きお引き受けいただきまして、その中で達成しているか、していないか、取り組む方向が違うのではないかなど、いろんなご意見をいただく仕組みにしたいと思っています。

●委員　今まではそういうシステムがなかったという事ですか。

◇事務局　現在、行政評価という仕組みがあります。これとも連動していかないといけないと考えております。

○会長　他に質問等が無ければ、次の議題について、説明をお願いします。

（５）　部会の設置について

◇事務局　～「部会の設置について」説明～

○会長　今、部会の進め方、さらには、部会を５つに分けたメンバーの提案をいただいています。そのことについて何かありますか。

●委員　ある程度の目標を皆さんで揉んだ後、部会でもっと掘り下げてやった方が効率的ではないですか？というのは、複合している部分がある。子育ては雇用と関係がある。教育にも関係がある。女性がとにかく元気になってくれないことには人口が増えないわけですから。そういう意味では、全体的な計画がそれぞれありますが、その目標を立てることについては、総合的に皆さんで詰めた方がやりやすいのではないですか。すり合わせてみたらちょっと違ったねという事が起こりませんか。

◇事務局　私どもとしては、第２回、第３回で市の職員と一緒になって皆さまからご意見をいただいた後に、第４回で、部会で出した案以外にも委員がおっしゃられ

たように錯綜して施策が重なってくることも出てくると思いますので、部会を進める中で皆さまに情報提供しながら、委員の皆様には、全体的な所で最終的に第４回、第５回で詰めていただきたいと考えております。

期間もタイトで申し訳ないですが、そういった進め方で進めたいと考えております。

○会長　２回は部会で詰めて、４回で一堂に会して、また出し合うということで、そこで検討という事も可能かもしれません。

●委員　総合戦略の骨子というところで、どの程度までが骨子でどの程度が決まっていることなのかが分からないのでお尋ねしますが、数値目標が全て５年で●●と書いてあって、この類のものが５年後に結果が出せるものなのかどうかというところが分からなくて。５年後に結果を出すのなら、決まって動き出しているものでなければ無理じゃないかという気がしています。

まず、どうでも５年後の目標を立てないといけないのかどうなのかという事が一つ。もしそうであれば、具体的に行政ではこういうことをします、民間にはこういうことを頼むというような、かなり強引なことをしていかないと当然間に合わないのではないかなという事が一つ疑問としてあります。

もう一つ、先ほどの委員さんの質問と似た事かも知れませんが、出生と移動とあると思うのですが、出入りはある程度すぐ出来るかなと。ただ日本全体で見た時には取り合いになるので、どこかが増えてどこかが減るので、市としては良いかもしれないが、国としてはあんまり意味がないかなと。で、産むという事に関しては、とても５年ではどうしようもない。骨子の中に、基本方針の２番目に「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望を叶える」とありますが、どのくらい希望しているかというところも含めると、希望に変えていくために相当今から時間がかかるなと。

今、子どもたちが育っていく中で、子どもをたくさん作るんだという意識を芽生えさせるためには、教育の段階で相当意識を変えていかないと、日本の場合、逆に振るという事はあり得ないのではないかと思っていて、この部分を５年で何とかしろという事が可能かなという事が個人的にすごく心配です。この本（計画）を作ることが目的になりそうで、それが嫌なので、今のうちに言っておきます。

もし５年で何かをするのであれば、相当具体的なことを、本を書くより、これをやってみようという形で進めていかないとうまくいかないのではないかと思うのでそこを質問させてください。

つまりこの骨子はどういうところまで具体的にしていくのか、半年でやるのであれば余計にそこのところの説明をお願いします。

◇事務局　まず、国がプランは５年分を作りなさいと言っています。

ですので、委員がおっしゃられるように、5 年後にどれだけ成果が出るかというと、今言われた子育への支援、希望を叶えるという事によって、子どもが何人増えますという、具体的な大きな数字というのは 5 年後にはもちろん出てこないと思っています。ですから、人口ビジョンでも申し上げましたが、45 年先、2060 年を見据えた形で国は作りなさいと。これは決められたような内容になっておりますので、周南だけ目標を 10 年後に持っていくという作り方が今回は出来ない。ただ、それを見据えて、5 年先にどのくらいを目標にすると。逆に、今の推計だったら 1000 人減るが、500 人の減に留めるというのも一つの目標の考え方になってきますので、これを、いろんなデータを基に、目標を設定していかなければならない。目標の設定の仕方は国で定められているわけではなく、地域に応じた目標を定めなさいと国から言われているのが現状です。どこもそうだと思いますが、先を見て、数値目標も定めて行かなければならない。その中で 5 年先はどういう現状を目指すというのを数値目標として設定していかなければならないとなっています。先ほど言われましたように、人口の取り合いをしても仕方ない、日本全体でいえば。そういったことは根底にはありますが、まちづくりの中で、人口減少抑制に向けて進めていく取組みを、各地域、地方公共団体が定めて、国全体で 2060 年には 1 億人を割らない人口にしていくための取組みを行っていくという事が大きな命題としてあります。

委員の言われますように、5 年先で結果が出るかと言われると、難しい課題は多いと思います。しかし、その中で、目標というのは何か定めて行かなければいけない。それが結果として現れなければ、ＰＤＣＡのサイクルというか、見直しを徐々にかけながら、将来的には 2060 年、日本全体で 1 億人を割らないような取組みを全国的に行っていきましょうという事が大命題であることをご理解いただければと思います。

5 年先だけの目標をここで定めるのではなくて、その先を見た形で、まず 5 年先はどういう状況を目標とするというような数値目標を定めて行きたいと。

ここに挙げていますのはあくまでも例ですので、中身を作っていく中で、全然違う目標を定めることもありだと思っています。

〇会長　ありがとうございました。

より長期的に実現していかないといけないことを見据えながらも、この 5 年間で目指すものを項目として取り上げていくと。そういったことを各部会でも詰めていっていただくことが必要だろうと思います。

●委員　説明を聞いていて、部会を設置して、今日お集まりの皆さんが部会に分かれると。私もそうなのですが、部会で何をやるのかという事が一番皆さん頭が痛くて、おそらく市の方は自由に話してよいという話ですが、これが一番困る。ちょっと見たところ、市の制度設計だと、各部会に、具体例というのが書いて

ありますね。全部やる必要もないし、これ以外にやってもいいという事だと思います。

むしろ、ここに挙げている例をある程度皆さんが揉んであげているのであれば、これについて話すというのであれば、我々数時間集まって、要る要らないを含めて、プラスするのも含めて話が出来るのではないかと思うのですが。今のままだと、ポンと投げられて、部会やってください、自由に意見出してくださいというのであれば、なかなかやりにくいなという事です。多分、皆さんお忙しい方なので、時間も限られているので、ここに挙がっている例を基に考えていくという事でよろしいのでしょうか。

◇事務局　ここに挙げている案、プラス、職員の庁内ワーキングチームを組織するとご説明しましたが、その中でもう少し入りこんだような案を作ります。その辺りを基に、部会を開いていきたいと考えておりますが、その案が各所管、担当部署から出てきた時点で、委員の皆さんには少しでも早く情報として、ワーキングチームとしてはこのように考えていますという形で情報提供をし、その中で委員さんから、これはどうか、もっといい方法があるのではないか、というようなご提案をいただけたらと考えております。

○会長　その他いかがですか。

●委員　基本的な考え方が腹入りしていないところがあるんです。お金が集まるところに人は集まります。そしたら人口も増えます。理想は、信長みたいに「楽市楽座」で税金を取らないようにしたら商売人が集まってきて、そこに大きな街が出来たっていう、これが自然の姿だと思うんです。そうしたら、人口をどうやって増やそうかという話ではなく、どれだけ稼げる街なのか、魅力的な街なのか。それは、スポーツで走ろうが、商業で走ろうが、工業で走ろうが、何でもよい。教育レベルが高い、先端医療が受けられる。先端医療についてはいろんな都市がやっているので、なかなか難しいかも分かりませんが、基本的なことは、どうしたら人が集まって来られるのかという魅力を、そこを一生懸命練れば、自然と数値目標というのは合格点がどの項目でもとれるようになるんじゃないんですか。せっかくこれだけの知恵者が集まって来られて、どうやってやるのかというところを、きちんと、意見を出して。出来る出来ないは良いんです。だけど、そこに向かってみんなが力を合わせるというのが、今、周南市に求められているんじゃないんですか？

周南市になって３回目ですよ、市長が変わって。何にもやってないんじゃないんですか。出来ない時代背景があったのはよく分かりますが、これから市長さんが２期目という事で、やっと土壌が出来たんです。何でも出来る土壌が出来たんだから、もっと、こんなつまらないことは止めて、実のある話をさせてください。

○会長　皆さん、そのくらいのつもりで集まって来られていると思います。

で、その進め方ということで、一つの案を提示していただいているので、まずはこれでやってみたいと私は思います。

部会では、各自がどこかに所属していただいて、色々ご意見やお考えを出していただくという事です。

●委員　部会をやるという話について決を採ってください。これは事務局が決めた話ではないですか。私を含めて 3 人意見が出た。

○会長　部会に反対という事ですか。

●委員　反対ではないですが、まず、もっと先にやらないといけないことがあるのではないかと。数値目標は出さないといけないのなら、企画課が出せばいいじゃないですか。誰も責任を取らないのだから。

私が出たからには責任がいるんです。報酬をもらうという話だし。そのサラリーに対してどのくらい無い知恵を出すかという責任を問われます。あそこの会議に出ていたねと言われる。知らないでは済まない。数値目標なんてどうでもいいんですよ。絵に描いた餅じゃないですか。皆さんはどうお考えなんですか。いや、目標は要りますよ。

我々は、数字の目標は積み上げていくんです。漠然と 15%売り上げをアップしろなんで出来ませんから。積み上げていかないと出来るわけないじゃないですか。

○会長　委員さんとしては、もっと議論をするという事ですか。

●委員　総合的な議論を。まだ中心が見えない。周南市の中心をどうするのかが。

片方では安心、安全と言いつつ、競艇のテレビコマーシャルがある。公営ギャンブルだからいいじゃないか、資金源になるからいいじゃないかと、本当にそれが自慢出来るまちのビジョンなのか。そんな細かいことも含めて、棚卸をして新たに組み直すことを周南市は求められているのではないですか。

○会長　実際の中身を出す上での進め方という事だと思いますが、範囲が広いので部会という事で具体的にやろうという提案が事務局から出たわけですが、次に部会をやりましょうという案についての決をとりましょうか？

●委員　会長に一任します。

○会長　この件について、事務局から何かあればお願いします。

◇事務局　様々なご意見があるかと思いますが、今回お願いしております委員の皆様、創生戦略会議につきましては、全国的に進めている中で、国が求めているものについて、まず作り上げたいというのが行政側の考え方であります。なので、まちづくり総合計画など、議会等とも一緒に作ってまいりましたが、これが大きなまちづくりのベースでございまして､その中でどういったものを抽出して、将来に向けたまちづくりをしていくか、これを策定してまいりたいと考えてお

りますので、大変ご貴重なご意見だと思いますし、必要なことだと思っておりますが、現時点では、今年中にこの総合戦略を作り上げていかなければならないと考えております。

やり方につきましては、事務局の案でございますが、今まで、市役所の職員と一緒になって部会のような形で進めるというのはなかなか無い取り組みではないかと思っております。時間も短い中でございますので、事務局としては今の形で進めさせていただいて、年内には総合戦略を作り上げてまいりたいと考えています。

○委員　ちょっと悪い言葉をつかわせてもらうと、国が作れというから、今年中に戦略という名前の本を作ってしまえば良いという会議ですか。そんなはずはないと思いますが、聞いているとそんなふうに聞こえてくるので、そうではなくて、当然大事な問題だから、何年かけてでも、この問題を、これだけの人を集めてやるんですから、立ち向かっていくんだという会議なのか。それが見えてこない。

大事な問題であることは間違いないですよね。それが何となく、聞けば聞くほど戦略という本を作らないといけないというふうに聞こえてくるので、それならこんなに部会はたくさんいらないですし、やることは限られてくるでしょうから、ちゃっちゃとやったらよいのではないかという気も正直しています。

そのあたりはどうなのでしょうか。

◇事務局　色々なご意見ありがとうございます。今、委員がおっしゃったことでございますが、先ほどから申し上げておりますように、既にまちづくり総合計画があります。昨年1年かけて、市民の皆さんを一緒に作り上げたものでございます。その考え方と、「まち・ひと・しごと創生本部」の考え方は同じ方向を向いております。ですから、そのまちづくり総合計画の考え方を入れながら、この戦略を作っていきたいというのが私たちの考えです。その中で、我々、行政職員では考え付かないようなご提案、アイデア、助言等をいただきたいという思いで、今回、戦略会議を設置させていただいたところです。進めるに当たっては、ある程度は、総合計画で基本施策、また3年間の実施計画を作っておりますので、その内容等をご提示して、そのうえで、委員の皆様方に、この事業はこうした方が良い、この施策はこれではダメだと言った、掘り下げた、深化した施策にしていきたいと考えています。

この問題が5年で解決出来るとは我々も考えておりませんが、ある数値目標を決めて、事業を見直しながらいくということは重要であると考えておりますので、数値目標を決めながら、事業を実施していくという事で、委員のおっしゃった、国に呼応はしますけど、ただ、国の施策がそうだからという意味ではなく、真に周南市の事を考えて、5 年間で何が出来るかという事で進めていき

たいと思っておりますので、そのあたりをご理解いただければと思います。

○会長　この計画が国から求められているものという事は事実です。ただ、そういったことをやる中で、せっかくのチャンスでもあると私は思います。かなり無理な期間でというのはありますが､その中で出来る限り色々議論した上でやれば、そこで出来たものは必ず今後の色んな議論のたたき台にもなると思います。

出来るだけ､本当の議論ということにこの場をうまく活用出来るようにやる、そういったことが求められているのではないかと思います。その意味で、このスケジュールでこの広い範囲の事を専門的に叩いていくという事になると、部会をまず開いて、それをもって全体でさらにすり合わせをするという手順によらざるを得ないと私は思っています。

そういう意味で、この部会を進めさせてもらえればと、私自身も説明を聞きながら感じているところです。

その他いかがですか。

●委員　色々聞いていると、基本的には国の方針があるのでやらざるを得ないだろうという事だと思います。今日は、これからのスケジュールと戦略会議の説明を受けたと。次回からは各部会で話し合いましょうという事でしょうが、私もこれまで周南再生塾や行財政事業仕分けとか、合併の 10 周年記念事業とか、色々やらせていただいたが、周南市民の方々はものすごいパワーをもっていると思います。これをまとめるというのが非常に大切だと思うので、周南市の地方創生が成功するか、失敗するかは周南市、行政の、地域を活かしたマネジメント能力、経営能力があるかどうかだと思っています。

先ほどから見せていただいている、まちづくり総合計画という素晴らしい本がもう出来上がっていて、これがもう戦略です。戦略はもう出来上がっています。私たちがやるのは、多分、各部会に分かれて、ではどうするかという個別の戦術を話し合う場所だろうと、私は解釈しています。そのあたりをはっきりしないから、委員から意見が出ても見えない。形が見えない。何を真剣に話し合うのか。目標が定まらないので、部会にもたどり着けないと思うので、そのあたりをしっかり部長の方で、骨子は出来上がっているので、具体的に皆さんで歩む姿を討議してほしいという事で良いのではないですか。今日お集まりの皆さんというのは「産・官・学・金・労・言」という人たちが集まっていらして、後はこれに市民一人一人の自己責任能力みたいなのがつながれば、非常に大きなパワーになると思うので、是非、次のステップに移るという事で、回数もあんまりないし、2 時間ずつとすると 6 時間くらいしかないので、これを基本に、我々は次の具体策を話し合うという事でよろしいのではないかと思いますがいかがですか。

◇事務局　今、委員がおっしゃったように、まちづくり総合計画と、国が考えている総

合戦略の方向、ベクトルは一緒です。ですから、総合計画の内容を基本目標に振り分けて、施策を配置し、追加する施策があればご提案いただければよいと思いますし、実施する施策、事業の深化と言いますか、深めていくために、有識者の皆さまのご助言、アドバイスをいただければと思っています。

次回にあたっては、そうした基本施策なり事業なりを提示して、具体的にお話合いしていただけるように準備してまいりたいと思っております。

○会長　今、委員から「まちづくり総合計画」という、既に戦略があると。それを戦術に移していく段階として、部会を活用してはいかがかという提案がありました。そういった視点をしっかり持ったうえで詰めていくという提案がありました。

その他いかがですか。

なければ、最後にご提案をいただいたような視点で、次は部会という事で進めさせてもらえればと思います。

以上で全ての議事が終了しましたが、今一度、全体を通して何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。

特にないようですが、本日は第１回目という事で、かなり委員の皆さんからの基本的なご指摘もいただきました。顔合わせから始まりまして、今後の枠組み、スケジュールもかなり急いだものではありますが、進め方について説明をもらいました。

また、最後に色々と議論をいただいたのですが、次回以降、部会に分かれて、まちづくり総合計画などもご覧いただいた上で、具体的な施策、目標、どういったことを数値目標として取り上げて、それを実現するにはどういうことが必要なのかという事を、市からも色々と具体的なものをいただきながら協議していくということになります。どうぞよろしくお願いします。

その他という事で、事務局から何かありますか。

６　その他

◇事務局　～その他連絡事項について説明～

●委員　皆さん忙しい方ばかりなので、午前、午後のスタート時間をある程度伝えておかないとスケジュールが難しいのでは。2 時間くらいですか？

◇事務局　2 時間以内を予定しています。午前であれば、9 時半から 11 時半、若しくは 12 時くらいまで、午後は、13 時半から 15 時半くらいがよろしいかと思いますが、ご意見があればお願いします。

○会長　細かい時間を書ける方は、書いて出していただくというのはいかがでしょうか。ざっくりと書ける方は○×で、1 時間単位、もっと細かい単位で動いてい

らっしゃる方もおられるでしょうから、それはそれで書いていただいて、事務局で調整をお願いします。

●委員　場所は本日と同じですか。

◇事務局　場所は部会によって変わってくると思いますが、部会はもっと小さい会場で出来ると思いますので、市役所等が良いと考えています。

7　閉会

○会長　以上で次第にあります日程はすべて終了いたしました。

本日は市長に最初から最後まで同席をいただきました。

議論にもありましたように、この会議の位置付けですね、確かに国の枠組みに則ったものという懸念があることは否めませんが、せっかくこれだけの人に集まっていただける貴重な機会となっていることは間違いないと思います。出来る限り短時間の間、この場を活用して本当に実のある総合戦略づくりにつないでいくことが出来ればと思っています。皆さんのご協力をどうぞよろしくお願いします。

本日は長い時間お疲れさまでした。進行を事務局にお返しします。

◇事務局　ありがとうございました。閉会にあたりまして、市長より一言ご挨拶を申し上げます。

○市長　皆様、本日は大変お疲れさまでございました。

市政運営は大きな仕組みの中で、国があり、県があり、市町村があり、議会があり、予算があり、そういう中で運営を行っているわけであります。

今日は、我々周南市の将来、これを展望して、それを実現するための、まずは今後5年間の目標、そして具体的な施策をまとめる重要な計画でございます。

人口につきましては、産業連関表の作成や、そうした具体的な施策に基づくところの人口の将来展望という事も、今回の「まち・ひと・しごと創生戦略会議」の中でご提案があるわけでございます。何よりも、色んな経済予測、分析も大切でありますが、それに合わせまして、民間の方のお知恵、感性といったものも、是非、そして専門的な知識も是非、今後のまちづくりのためにお力を貸していただければと思います。

今回は、周南市の現場の職員も一緒になりまして計画を策定するという事でありまして、是非、皆さま方のお知恵、専門的な知識の部分を周南市の職員とともに、素晴らしい計画を立てていただきたいと思います。

パワーをまとめて、マネジメント能力を私も磨いてまいります。

これからも、有識者の皆さま方のご提案、ご意見をしっかりとお伺いしまして、共に策定を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞご協力を賜り

ますようよろしくお願いいたします。
　本日は大変お疲れさまでございました。

◇事務局　以上をもちまして、「第１回　周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議」を終了いたします。本日は大変ありがとうございました。